

災害が起きてからでは間に合いません!

今やっておくべき5つのこと

☎総務課地域安全対策係 ☎028(677)6029

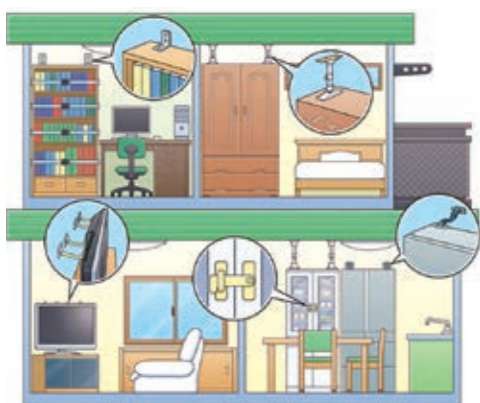
①家の安全対策をしておく

家の外

- ・屋外に置いてある物を、強風で飛ばされないようにしておく
- ・屋根瓦や雨どい等が固定されているかを確認しておく

家の中

- ・手の届くところに懐中電灯、スリッパ、ホイッスルを置いておく
- ・家具が倒れないよう固定しておく
- ・万が一家具等が倒れても、部屋の出口や通路がふさがれないようにしておく
- ・落ちると危険な物を家具の上に置かない



特に昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅は、耐震性の有無に注意しましょう。町は、耐震診断・改修等の助成を行っています。
☎都市計画課都市計画係 ☎028(677)6020

②身の守り方を知っておく

浸水が起きたら

建物内にいたら

- ・2階など少しでも高い場所へ避難する

自動車内にいたら

- ・ドアが開けられない場合は、ハンマーなどで窓ガラスを打ち破り、脱出する



地震が起きたら

家では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・無理をして火を消そうとしない



人が大勢いる施設では

- ・係員の指示に従う
- ・頭を保護し、陳列棚などから離れる
- ・あわてて出口に走り出さない



エレベーターでは

- ・すべての階のボタンを押して最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

山やがけ付近では

- ・斜面から離れる

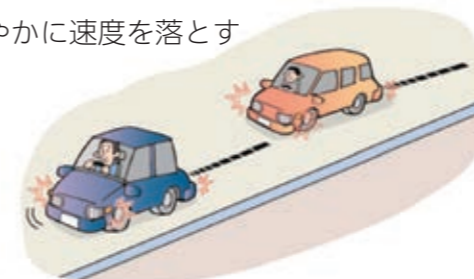
屋外では

- ・ブロック塀など倒れるおそれがあるものから離れる
- ・看板やガラス窓から離れる



自動車運転中では

- ・ハザードランプを点灯し、ゆるやかに速度を落とす



電車やバス乗車中では

- ・つり革や手すりにしっかりつかまる

避難が必要になったらすぐ避難できるように、避難所や避難経路をハザードマップで確認しておきましょう。
芳賀町防災webに掲載中▶



③最低3日分の備蓄品などを揃えておく



備蓄品	非常持出品	常時携行品
飲料水	非常食	ホイッスル
食料品	貴重品	ライト、ラジオ
衣類	携帯電話	連絡メモ
燃料	救急用品	充電器
衛生用品 など	懐中電灯 など	飲料 など

※感染症対策の物品を加えましょう

マスク、手指消毒用アルコール、ウェットティッシュ、体温計

水とカセットコンロなどの熱源は必需品

水…飲料水と調理用水として一人1日約3L
カセットボンベ…一人 1週間当たり約6本

食品の備蓄におすすめ

消費しながら蓄える「ローリングストック法」

普段食べているカップめんや缶詰、インスタント味噌汁などを少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を補充する。



非常持出品は、すぐに持ち出せるようリュックサックに詰めて保管しましょう。

《避難の際の服装》

底が厚めの運動靴、帽子やヘルメット、軍手やゴム手袋、長袖・長ズボン、雨カッパ、タオル、マスク など

